

令和5年9月15日

6年生保護者のみなさまへ

刈谷市立小高原小学校長
尾出知子

全国学力・学習状況調査の調査結果について

本年、4月18日（火）に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省から届きましたので、下記のとおり調査結果の取り扱いに関する方針と本校の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、個人票をお渡ししますのでご覧ください。

記

1 調査結果の取り扱いに関する方針

文部科学省および刈谷市教育委員会は、結果の公表について、「本調査により測定できるのは学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であることなどを踏まえるとともに、序列化や過度な競争が生じないなど教育上の効果や影響等に十分配慮することが重要である」という方針をとっています。本校もその方針を受けて、小高原小学校の傾向を国・県の状況を踏まえて分析し、改善すべき点の把握に努めていく目的で調査結果を取り扱います。なお、本調査結果は本校のホームページに掲載します。

2 本校の概要

国語	<ul style="list-style-type: none">・全体的によく定着しており、満足できる状況である。・学習指導要領の領域で示す「言葉の特徴や使い方に関する事項」「情報の扱い方に関する事項」「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の5領域において、本校はほぼ平均的であり満足できる状況である。・目的や意図に応じ、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えを思考・判断・表現し、まとめることが、よく定着していた。・今後は、説明文等の学習において、文章の内容や構造を捉え、既存の知識などと結び付けて自分の考えをまとめる活動を通して、目的に応じて必要な情報を見付けたり、情報を関係付けて整理したりする力を伸ばしていきたい。
算数	<ul style="list-style-type: none">・全体的によく定着しており、十分満足できる状況である。・学習指導要領の領域で示す「数と計算」「図形」「変化と関係」「データの活用」の4領域において、本校は平均を上回り十分満足できる状況である。・「データの活用」において、問題を解決するために、目的に応じて複数のグラフからデータの特徴を捉え、見いだしたことを表現することなどが、よく定着していた。・今後は、目的に応じてデータを収集し、表やグラフに表したり読んだりすることを通して、割合への理解を深め、百分率を用いて表現する力を伸ばしていきたい。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none">・「先生は、あなたのよいところを認めてくれている」「先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる」と感じている児童の割合がとても高い。また、「人が困っているときは、進んで助ける」「いじめはどんな理由があってもいけない」という児童の割合も高い。・「自分と違う意見について考えることを楽しい」と感じ、人間関係づくりに話し合うことを大切に思う児童は平均を上回り、「学校に行くのは楽しいと思っている」「友達関係に満足している」児童の割合がとても高い。・読書習慣や家庭学習の取組を見直し、外国や英語への興味関心を高め、地域への行事参加を促すことで、地域社会をよくしたいという気持ちを育てていきたい。・学習の場でPCやタブレット端末を活用することで、ICT機器の有効性を実感させるとともに、情報モラルへの意識を高めさせたい。

【個人票の見方等につきまして質問がありましたら、担任までご相談ください。】